

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

大台町教育委員会
平成29年10月

本年4月に小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月28日に文部科学省から公表されました。

調査結果や本町における児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果、今後の取組を以下のとおりまとめました。

調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。

なお、本町からのこの調査への参加者は、小学校4校58名、中学校2校81名です。

1 教科に関する調査の結果・分析

※結果の分析は、平均正答率が全国平均正答率と比較し、5%以上のものを「強み」と捉え、5%以下のものを「弱み」として捉え記述しました。全国と比べて理解されているかどうかという観点で記述しました。

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語A>

○強み

- ・問題1-1：学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する。

平均正答率：75.9%（全国：69.2%）

→互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合われているか読み取れています。

- ・問題4-1：俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する

平均正答率：86.2%（全国：79.4%）

→俳句の情景を捉えることができます。

○弱み

- ・問題7(1)：漢字を書く（参加たいしょう）

平均正答率：31.0%（全国：42.0%）

- ・問題7(2)：漢字を書く（4年生のきぼう者）

平均正答率：72.4%（全国：80.0%）

- ・問題7(5)：漢字を書く（箱がおいてあります）

平均正答率：70.7%（全国：76.8%）

→学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域及び評価の観点から見て、「話すこと・聞くこと」に関しては全国と比較して力がついていません。
- ② 学習指導要領の領域及び評価の観点から見て、「書くこと」については課題があります。「書く能力」については、今後伸ばして行かなければなりません。
- ③ 国語A問題は、全国平均と同等の力を示しています。

<小学校国語B>

○強み

- ・問題1三：折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く

平均正答率：58.6%（全国：48.4%）

→目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを書くことができています。

- ・問題2三：「水やりを協力してくれる人をば集めます」の〔イ〕に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く

平均正答率：44.8%（全国：33.0%）

→目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができています。

○弱み

- ・問題2二：【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、『緑のカーテンを始めよう』の一部から選択する

平均正答率：60.3%（全国：70.9%）

→目的や意図に応じ、引用して書くことができていません。

- ・問題3二：「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する

平均正答率：17.2%（全国：28.0%）

→自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができていません。

- ・問題3三：「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えをまとめて書く

平均正答率：37.9%（全国：43.7%）

→物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることができていません。

■全体の傾向から見られる課題

- ① 学習指導要領の領域や評価の観点からみて、「話すこと・聞くこと」についてはある程度力はついていますが、「読むこと」について、B問題では若干力がついて

いません。

- ② 国語B問題でも、全国と同等の力を示しています。

<小学校算数A>

○強み

- ・問題5：示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ
平均正答率：72.4%（全国：67.0%）
→高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係が理解されています。
- ・問題9（2）：二次元表の合計欄に入る数を書く
平均正答率：69.0%（全国：62.8%）
→資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができます。

○弱み

- ・問題1（2）：買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ
平均正答率：62.1%（全国：69.9%）
→1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線上に表すことができていません。
- ・問題2（4）： $5 \div 9$ の商を分数で表す
平均正答率：53.4%（全国：69.2%）
→商を分数で表すことができていません。
- ・問題3：8と12の最小公倍数を求めることができる
平均正答率：69.0%（全国：86.2%）
→二つの数の最小公倍数を求めることができていません。
- ・問題4：重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ
平均正答率：60.3%（全国：70.7%）
→任意単位による測定について理解されていません。
- ・問題8：はじめに持っていたシールの枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ
平均正答率：75.9%（全国：83.6%）
→未知の数量を表す口を用いて、問題場面を除法の式に表すことができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「数と計算」「量と測定」についてはやや低く、力をつけていく必要があります。「図形」については、力がついています。
- ② 評価の観点から言えば、「数量や図形についての技能」がやや劣ります。算数Aについては全国よりやや低く、力をつけていく必要があります。

<小学校算数B>

○弱み

- ・問題1(1): カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く
平均正答率: 67.2% (全国: 76.0%)
→示されている条件を基に、適切な式を立てることができていません。
- ・問題2(1): 小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く
平均正答率: 31.0% (全国: 40.4%)
→料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することができていません。
- ・問題4(1): 示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ
平均正答率: 32.8% (全国: 39.8%)
→示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述することができていません。
- ・問題4(2): 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ
平均正答率: 24.1% (全国: 29.3%)
→割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 数学Bは、学習指導要領の領域から「数と計算」「図形」「数量関係」の3観点については、やや低い数値を示しています。力をつけていく必要があります。
- ② 数学Bについては、評価の観点から見ても、「数学的な考え方」や「数量や図形についての知識・理解」ともやや低い状況にあります。

<中学校国語A>

○強み

- ・問題4二: 文章について説明したものとして適切なものを選択する
平均正答率: 79.0% (全国: 72.9%)
→文章の構成や展開、表現の特徴についての自分の考えを持つことができています。
- ・問題5一: <立候補者から>の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する
平均正答率: 87.7% (全国: 79.8%)
→文章の構成を工夫してわかりやすく書くことができています。
- ・問題9五: 話し合いの記録として適切な言葉を考える
平均正答率: 42.0% (全国: 35.8%)

→事象や行為などを表す多様な語句について理解できています。

○弱み

- ・問題 1 : 画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する

平均正答率 : 75.3% (全国 : 81.4%)

→話し言葉と書き言葉の違いが理解できていません。

- ・問題 2 ー : スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する個所として適切なものを選択する

平均正答率 : 82.7% (全国 : 87.8%)

→目的に応じて資料を効果的に活用して話すことにやや難があります。

- ・問題 9 三ウ : 適切な敬語を選択する (先生もこの書店をよくご利用になるのですね)

平均正答率 : 79.0% (全国 : 85.7%)

→語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができていません。

- ・問題 9 六 1 : 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する

平均正答率 : 38.3% (全国 : 49.6%)

→楷書と行書の違いが理解されていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域や評価の観点から見て、「書くこと (能力)」「読むこと (能力)」に関しては力がついています。
- ② 国語 A については、全国平均と同等の力を示しています。

<中学校国語 B>

○強み

- ・問題 2 三 : スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す

平均正答率 : 63.0% (全国 : 57.6%)

→相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができています。

○弱み

- ・問題 3 二 : 太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する

平均正答率 : 72.8% (全国 : 78.7%)

→目的に応じて必要な情報を読み取ることができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域のうち、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については力がついています。「読むこと」については、やや弱く、力をつける必要があります。
- ② 国語Bについても、全国平均と同等の力を示しています。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題1(2): aとbが負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ
平均正答率: 79.0% (全国: 69.3%)
→2つの数の和が負の数になるものを理解しています。
- ・問題1(3): $10 - 6 \div (-2)$ を計算する
平均正答率: 82.7% (全国: 75.6%)
→加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算の決まりにしたがって計算できています。
- ・問題1(4): 3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す
平均正答率: 95.1% (全国: 89.4%)
→実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解できています。
- ・問題2(3): $(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算する
平均正答率: 87.7% (全国: 78.5%)
→整式の加法と減法の計算ができています。
- ・問題3(2): 数量の関係を一元一次方程式で表す
平均正答率: 64.2% (全国: 52.8%)
→具体的な場面で、一元一次方程式をつくることできています。
- ・問題3(4): 連立二元一次方程式 $x + y = 5$, $x/6 + y/3 = 1$ を解く
平均正答率: 67.9% (全国: 62.2%)
→簡単な連立二元一次方程式を解くことできています。
- ・問題4(1): 角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ
平均正答率: 76.5% (全国: 67.4%)
→角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解しています。
- ・問題5(3): 立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ
平均正答率: 87.7% (全国: 80.2%)
→見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができています。
- ・問題6(1): 錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ
平均正答率: 53.1% (全国: 43.1%)

- 錯角の意味が理解されています。
- ・問題 10 (1) : 比例 $y = 4x$ について、 x の値が 3 のときの y の値を求める
平均正答率 : 90.1% (全国 : 84.6%)
→与えられた比例の式について、 x の値に対応する y の値を求めることができます。
 - ・問題 10 (3) : 反比例の表から比例定数を求める
平均正答率 : 40.7% (全国 : 34.4%)
→与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している生徒が全国よりも多くいます。
 - ・問題 11 (1) : 一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる
平均正答率 : 86.4% (全国 : 75.9%)
→一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に x と y の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができます。
 - ・問題 13 : 二元一次方程式が表すグラフを選ぶ
平均正答率 : 69.1% (全国 : 63.0%)
→二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解しています。
 - ・問題 15 (1) : さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ
平均正答率 : 85.2% (全国 : 78.0%)
→「同様に確からしい」ことの意味を理解しています。
 - ・問題 15 (2) : 赤玉 3 個、白玉 2 個の中から玉を 1 個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める
平均正答率 : 87.7% (全国 : 78.3%)
→簡単な場合について、確率を求めることができます。

○弱み

- ・問題 4 (3) : 半径が 5 cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める
平均正答率 : 24.7% (全国 : 30.7%)
→扇形の弧の長さを求めることができていません。
- ・問題 11 (2) : 変化の割合が 2 である一次関数の割合を表した表を選ぶ
平均正答率 : 46.9% (全国 : 56.0%)
→与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している生徒が全国より少ない状況です。
- ・問題 14 (1) : 反復横跳びの記録の範囲を求める
平均正答率 : 23.5% (全国 : 28.6%)
→範囲の意味が理解されていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「数と式」「関数」「資料の活用」の3領域については、全国平均より高い数値を示しています。「図形」については、全国平均と同等の力を示しています。
- ② 評価の観点からみると、「数学的な技能」や「数量や図形などについての知識・理解」について、全国より高い数値を示しています。
- ③ 数学Aに関して、全国平均より高い数値を示し、力がついている状況であると判断できます。

<中学校数学B>

○強み

- ・問題3 (1) : 与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 m^3 であったことを表す点を求める
平均正答率 : 96.3% (全国) 90.8%
→与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。
- ・問題4 (1) : 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する
平均正答率 : 51.9% (全国 : 44.1%)
→筋道を立てて考え、証明することができています。
- ・問題5 (1) : 1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める
平均正答率 : 91.4% (全国 : 79.3%)
→資料から必要な情報を適切に読み取ることができています。

○弱み

- ・問題1 (2) : 四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFDの模様に重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する
平均正答率 : 8.6% (全国 : 14.0%)
→2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができていません。
- ・問題5 (3) : 「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する
平均正答率 : 8.6% (全国 : 17.6%)
→資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「数と式」「図形」「関数」については全国平均よりやや低く、「資料の活用」についてはやや高い状況です。
- ② 評価の観点からみて、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」はやや低く、「数量や図形などについての知識・理解」は高い数値を示しています。
- ③ 数学Bは全国平均よりやや低い状況です。

2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

（1）自尊感情・生きる力について

【児童・生徒質問紙】

◇項目4：ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 94.8%（三重県95.1%、全国94.8%） 全国比± 0.0
- ・生徒 98.7%（三重県95.5%、全国94.7%） 全国比+ 4.0

◇項目5：難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 75.8%（三重県78.1%、全国77.4%） 全国比－ 1.6
- ・生徒 75.3%（三重県73.2%、全国71.0%） 全国比+ 4.3

◇項目6：自分には、良いところがあると思いますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 93.1%（三重県77.4%、全国77.9%） 全国比+ 15.2
- ・生徒 80.2%（三重県73.2%、全国70.7%） 全国比+ 9.5

◇項目10：将来の夢や目標を持っていますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 84.4%（三重県84.4%、全国85.9%） 全国比－ 1.5
- ・生徒 64.2%（三重県71.2%、全国70.5%） 全国比－ 6.3

【学校質問紙】

◇項目46：調査学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県93.8%、全国91.6%）
- ・中学校 0.0%（三重県90.4%、全国87.0%）

◇項目45：調査対象の学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 75.0% (三重県73.6%、全国75.7%)
- ・中学校 100.0% (三重県98.8%、全国97.5%)

■児童の場合、「自分には、良いところがある」と答えた児童が、全国よりも15ポイント以上高い数値を示しています。自己肯定感が強く、良い傾向にあるといえます。その反面、「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する」ことや「将来の夢や目標を持っているか」については、全国よりもやや低い数値を示しています。失敗を恐れず挑戦することや、夢や目標を持って生きることの大切さを実感させることも大切であると考えます。

■生徒の場合は、「最後までやり遂げてうれしかったこと」「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している」「自分に良いところがあると思う」は、全国平均よりも高い数値を示しています。しかし、「将来の夢や目標を持つ」ことは、児童以上に全国よりも低い数値を示しています。自尊感情や挑戦する心が育ってきているので、将来への夢や目標を持たせていくような指導が大切です。

■学校質問紙で、「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」という設問では、中学校2校とも指導していると答えています。キャリア教育の中で取り組む内容となりますが、生徒の答えと合わせて、どのように「夢や目標を持たせていくのか」今後考えていく必要があります。

(2) 生活習慣について

【児童・生徒質問紙】

◇項目1：朝食を毎日食べていますか

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 96.6% (三重県95.4%、全国95.4%) 全国比+ 1.2
- ・生徒 91.4% (三重県93.6%、全国93.2%) 全国比- 1.8

◇項目2：毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 89.7% (三重県79.3%、全国79.8%) 全国比+ 9.9
- ・生徒 69.2% (三重県75.7%、全国75.6%) 全国比- 6.4

◇項目3：毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 96.5% (三重県91.1%、全国91.2%) 全国比+ 5.3
- ・生徒 97.5% (三重県92.0%、全国92.4%) 全国比+ 5.1

■「朝食を食べているか」という問いに対して、本年度は生徒が全国平均よりやや低い数値を示しています。昨年度の生徒が100%という数値を示していたので、本年度は1割近く数値が下がっています。その理由を見ていく必要があります。「寝る時間・起きる時間」については、児童は全国平均を上回っています。規則正しい生活ができているようです。生徒は、「起きる時間」は全国平均を上回り、ほぼ同じ時

間に起きています。しかし、「寝る時間」が一定せず、不規則な生活をしていることが伺えます。

(3) 学習習慣について

【児童生徒質問紙】

◇項目 15：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

（小中学校とも、1時間以上と答えた割合）

- ・児童 67.3%（三重県61.6%、全国64.4%） 全国比+ 2.9
- ・生徒 70.4%（三重県66.5%、全国69.6%） 全国比+ 0.8

◇項目 16：土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

（小中学校とも、1時間以上と答えた割合）

- ・児童 46.5%（三重県47.9%、全国57.3%） 全国比- 10.8
- ・生徒 56.8%（三重県62.0%、全国69.4%） 全国比- 12.6

◇項目 17：学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか。

（「学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している(2)」「学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している(3)」「(2)(3)の両方の内容を勉強している」「(2)(3)の内容のどちらともいえない」と回答した割合）

- ・児童 65.5%（三重県49.7%、全国45.8%） 全国比+ 19.7
- ・生徒 75.3%（三重県68.5%、全国61.4%） 全国比+ 13.9

◇項目 29：家で、自分で計画を立てて勉強していますか。（中学：項目 31）

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 63.8%（三重県62.8%、全国64.5%） 全国比- 0.7
- ・生徒 45.7%（三重県54.3%、全国51.5%） 全国比- 5.8

◇項目 30：家で、学校の宿題をしていますか。（生徒：項目 32）

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 100.0%（三重県97.0%、全国96.9%） 全国比+ 3.1
- ・生徒 95.0%（三重県91.7%、全国89.5%） 全国比+ 5.5

◇項目 31：家で、学校の授業の予習をしていますか。（生徒：項目 33）

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 41.4%（三重県41.6%、全国41.0%） 全国比+ 0.4
- ・生徒 47.0%（三重県33.4%、全国31.7%） 全国比+ 15.3

◇項目 32：家で、学校の授業の復習をしていますか。（生徒：項目 34）

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 48.2%（三重県 51.1%、全国 53.8%） 全国比－ 5.6
- ・生徒 45.7%（三重県 48.6%、全国 50.5%） 全国比－ 4.8

■家庭での学習についての質問で、児童・生徒とともに平日 1 時間以上学習をしている割合は全国平均とほぼ同等です。しかし、休日に 1 時間以上学習している割合は、児童・生徒ともに全国平均より 10 ポイント以上低い状況にあります。家庭での学習内容は、児童・生徒とも学校の宿題や予習をする割合は高くなっていますが、復習は全国よりも低い数値を示しています。また、「計画を立てて学習する」生徒の割合も全国より低くなっています。また、「学習塾で勉強していますか」の問いに、学習塾等で学んでいる児童・生徒の割合は、全国に比べて高い数値を示しています。

学習塾で勉強しているので家庭での学習は少なくても良いと考えているのか。あるいは、学習塾へ行くために休日の家庭学習が少ないのか、精査する必要があるのではないかと考えます。

児童・生徒とも国語に関しては、全国平均かそれ以上の力を示しています。算数及び数学 B では、やや劣っています。これらの家庭学習あるいは学習塾での勉強の相関関係を探る必要があるのではないかと考えます。

（4）読書習慣について

【児童生徒質問紙】

◇項目 18：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

（「30 分以上」と回答した割合）

- ・児童 36.2%（三重県 34.3%、全国 36.5%） 全国比－ 0.3
- ・生徒 22.2%（三重県 25.9%、全国 29.2%） 全国比－ 7.0

◇項目 19：昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

（「週 1 回以上行く」と回答した割合）

- ・児童 25.9%（三重県 13.8%、全国 15.6%） 全国比＋ 10.3
- ・生徒 17.3%（三重県 7.0%、全国 8.1%） 全国比＋ 9.2

◇項目 72：読書は好きですか。（生徒：項目 74）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 70.7%（三重県 74.0%、全国 74.3%） 全国比－ 3.6
- ・生徒 58.1%（三重県 70.1%、全国 69.9%） 全国比－ 11.8

【学校質問紙】

◇項目 22：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか。

（「月に数回程度行った」と回答した割合）

- ・小学校 75.0%（三重県41.8%、全国42.6%）
- ・中学校 0.0%（三重県8.9%、全国11.4%）

■普段の読書に取っている時間は、生徒は全国平均よりも低い数値を示しています。しかし、読書活動のための学校図書館・室等の活用については、全国平均と比較すると児童・生徒とも全国より高くなっています。「読書が好きか」という問いには、全国と比較して低い数値を示していますが、特に生徒は数値が低い状況です。読書活動には、どの学校も取り組み「朝の読書活動」を行っています。現在、小学校において学校図書室のリニューアルを、大台町立図書館と協力して進めています。26年度に三瀬谷小学校、27年度には川添小学校を。28年度は日進小学校の図書室をリニューアルしました。本年度は、宮川小学校の図書室のリニューアルを行っています。子どもたちが、気持ちよく読書できる体制をつくっていきたいと考えています。また、図書館司書の学校へ出かける時間の増加を図って行きたいと考えています。

■図書館資料を活用した授業を計画的に行ったかという学校への質問には、小学校は全校が資料を使った授業を組んでいるが、中学校はできていません。全国も低い数値を示していますが、中学校は受験等も考えていくと資料を使って授業をするだけの余裕がないということも言えます。

（5）メディアとの接触時間について

【児童生徒質問紙】

◇項目 12：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）。

（「2時間以上」と回答した割合）

- ・児童 65.5%（三重県56.6%、全国55.7%） 全国比+ 9.8
- ・生徒 56.8%（三重県52.2%、全国49.1%） 全国比+ 7.7

◇項目 13：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

（「2時間以上」と回答した割合）

- ・児童 36.1%（三重県33.8%、全国31.1%） 全国比+ 5.0
- ・生徒 35.7%（三重県41.0%、全国37.6%） 全国比- 1.9

◇項目 14：普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

（「2時間以上」と回答した割合）

- ・児童 10.3%（三重県13.5%、全国12.0%） 全国比－ 1.7
- ・生徒 39.5%（三重県35.6%、全国32.2%） 全国比＋ 7.3

※参考

携帯電話やスマートフォンを持っていない児童・生徒

- ・27年度児童50.0%（三重県43.2%、全国42.0%） 全国比＋ 8.0
- ・28年度児童46.7%（三重県38.8%、全国38.9%） 全国比＋ 7.8
- ・29年度児童58.6%（三重県37.0%、全国36.7%） 全国比＋21.9
- ・27年度生徒23.3%（三重県17.1%、全国21.4%） 全国比＋ 1.9
- ・28年度生徒15.3%（三重県15.0%、全国18.8%） 全国比－ 3.5
- ・29年度生徒16.0%（三重県12.9%、全国16.1%） 全国比－ 0.1

■普段の生活の中で、テレビやビデオ・DVDの視聴は、全国と比較して児童・生徒とも高い数値を示しています。テレビゲーム等に関しては、小学生は全国と比較して数値が高く、昨年度より9ポイント上がっています。中学生は、ゲームに費やす時間2時間以上という生徒も3分の1ほどいますが、中学生は携帯電話やスマートフォンを使用している、通話やメール、インターネットが全国よりも高くなっています。

参考にした携帯電話やスマートフォンを持っていない児童や生徒は、小学生で持っていない児童が昨年度より11.9%減り、中学生はほぼ同じという結果が出ています。本町に限らず、全国的に携帯電話やスマートフォンを持つ人が増えるという傾向にあります。本町も中学生になって持たしている家庭が多くなっています。

（6）学校・先生・授業について

【児童生徒質問紙】

◇項目 33：学校に行くのは楽しいと思いますか。（生徒：項目 35）

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・児童 89.6%（三重県87.1%、全国86.3%） 全国比＋ 3.3
- ・生徒 84.0%（三重県82.9%、全国80.9%） 全国比＋ 3.1

◇項目 34：学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。（生徒：項目 36）

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・児童 98.3%（三重県96.7%、全国96.4%） 全国比＋ 1.9
- ・生徒 93.8%（三重県95.5%、全国94.6%） 全国比－ 0.8

◇項目 35：学校で、好きな授業がありますか。(生徒：項目 37)

(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

- ・児童 98.3% (三重県 93.4%、全国 93.0%) 全国比+ 5.3
- ・生徒 84.0% (三重県 81.8%、全国 79.2%) 全国比+ 4.8

◇項目 36：学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。

(生徒：項目 38)

- ・児童 63.8% (三重県 50.5%、全国 50.3%) 全国比+ 13.5
- ・生徒 46.9% (三重県 38.5%、全国 40.5%) 全国比+ 6.4

◇項目 37：学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。

(生徒：項目 39)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 100.0% (三重県 87.5%、全国 87.8%) 全国比+ 12.2
- ・生徒 82.7% (三重県 87.1%、全国 86.0%) 全国比- 3.3

◇項目 38：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

(生徒：項目 40)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 89.6% (三重県 87.2%、全国 86.0%) 全国比+ 3.6
- ・生徒 80.3% (三重県 82.2%、全国 80.4%) 全国比- 0.1

◇項目 39：先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。(生徒：項目 41)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 86.2% (三重県 87.7%、全国 85.1%) 全国比+ 1.1
- ・生徒 75.3% (三重県 79.3%、全国 75.5%) 全国比- 0.2

■「学校」については、「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童・生徒は、全国平均より 3 ポイント高くなっています。また、「学校で友達に会うのは楽しいか」という設問では、生徒が全国よりもやや低くなっています。わずかですが、楽しくないと思っている児童・生徒がいることを考えて、日々の指導に当たる必要があります。

「学校で好きな授業があるか」という設問では、児童・生徒ともあると答えた率が全国よりも高くなっています。

■「学級」での活動では、「話し合い活動」で「自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりしている」と答えた児童・生徒が全国平均より高い数値を示しています。子どもたちの意見を大切にしたり、また、子どもたちが仲間の意見を大切にして話し合い活動を行っている様子が伺えます。

「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことは」という設問で、小学

生は全員が「ある」と答えています。中学生は、全国と比べると低い数値ですが、普段の行事では、生徒数の少なさから縦割り班で活動をする事が多く、その影響もあるものと考えます。

- 「先生」については、「よいところを認めてくれている」と感じている児童は全国よりやや高く、生徒は全国と比べてほぼ同等の数値を示しています。「間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれる」と答えた児童・生徒は、全国平均とほぼ同等の数値を示しています。教員がある程度適切に取り組んでいることが伺えます。

(7) 家庭・地域・社会について

【児童生徒質問紙】

◇項目 24：家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

（生徒：項目 26）

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 81.0%（三重県77.6%、全国78.1%） 全国比+ 2.9
- ・生徒 74.1%（三重県74.0%、全国74.3%） 全国比- 0.2

◇項目 27：家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか。

（生徒：項目 29）

（「よく話す」「時々話す」と回答した割合）

- ・児童 38.0%（三重県48.3%、全国50.4%） 全国比- 12.6
- ・生徒 67.9%（三重県61.8%、全国60.7%） 全国比+ 7.2

◇項目 40：今住んでいる地域の行事に参加していますか。（生徒：項目 42）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 82.7%（三重県68.3%、全国62.6%） 全国比+ 20.1
- ・生徒 71.6%（三重県47.2%、全国42.1%） 全国比+ 29.5

◇項目 41：地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

（生徒：項目 43）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 74.1%（三重県62.0%、全国63.9%） 全国比+ 10.2
- ・生徒 60.5%（三重県57.8%、全国59.2%） 全国比+ 1.3

◇項目 42：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

（生徒：項目 44）

- ・児童 41.3%（三重県40.1%、全国42.3%） 全国比- 1.0
- ・生徒 34.6%（三重県31.6%、全国33.4%） 全国比+ 1.2

◇項目 43：地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

(生徒：項目 45)

(「参加したことがある」と回答した割合)

- ・児童 44.8% (三重県 30.3%、全国 35.4%) 全国比+ 9.4
- ・生徒 76.5% (三重県 46.3%、全国 49.7%) 全国比+ 26.8

◇項目 44：地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。(生徒：項目 46)

- ・児童 55.2% (三重県 42.8%、全国 41.1%) 全国比+ 14.1
- ・生徒 34.6% (三重県 24.4%、全国 23.6%) 全国比+ 11.0

◇項目 45：新聞を読んでいますか。(生徒：項目 47)

(「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」と回答した割合)

- ・児童 17.3% (三重県 21.3%、全国 21.6%) 全国比- 4.3
- ・生徒 13.6% (三重県 15.6%、全国 14.9%) 全国比- 1.3

◇項目 46：テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）。

(生徒：項目 48)

(「よく見る」「時々見る」と回答した割合)

- ・児童 87.9% (三重県 83.6%、全国 84.6%) 全国比+ 3.3
- ・生徒 84.0% (三重県 86.6%、全国 86.7%) 全国比- 2.7

■「家庭」で家の人と学校の出来事について話をする割合は、児童は全国よりもやや高く、生徒はほぼ同じ数値を示しています。ある程度、学校のことを話題にして会話していることが伺えます。

「将来のこと」について話すことは、生徒は進路を考える時期に入ってきており、よく話し合われていますが、児童はあまり話し合われているようではなく、全国よりかなり低い数値を示しています。

■「地域」との関わりでは、児童・生徒とも「地域の行事」への参加率は、全国を大きく上回っています。また、地域でのボランティアについては、生徒は全国と比べて高い数値を示し、児童も全国よりは高くなっています。また、「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊ぶ」と答えた児童・生徒も、全国と比較すると高い数値を示しています。

過疎地である大台町では、子どもたちが地域の良さ、地域の人々の温かさに触れ、地域に愛着を持つ活動が大切であり、またそのための活動を各学校で取り組んでいます。その結果の現れと考えられます。今後も地域に根ざした取り組みを進めていきます。

■「社会」への関心では、「新聞」を読む割合は全国より低くなっています。「テレビ」でのニュースについては、児童の方がよく見ている状況です。

(8) 見通す・振り返る活動(主体的な学び)について

【児童生徒質問紙】

◇項目 61: 5年生までに(1, 2年生のときに)受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。(生徒: 項目 63)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 98.3% (三重県 89.4%, 全国 88.2%) 全国比+ 10.1
- ・生徒 85.2% (三重県 90.2%, 全国 87.8%) 全国比- 2.6

◇項目 62: 5年生までに(1, 2年生のときに)受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。(生徒: 項目 64)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 84.5% (三重県 78.8%, 全国 76.2%) 全国比+ 8.3
- ・生徒 61.8% (三重県 72.1%, 全国 66.1%) 全国比- 4.3

◇項目 63: 5年生までに(1, 2年生のときに)受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか。

(生徒: 項目 65)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 94.9% (三重県 90.3%, 全国 88.7%) 全国比+ 6.2
- ・生徒 67.9% (三重県 80.8%, 全国 80.3%) 全国比- 12.4

【学校質問紙】

◇項目 33: 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 98.8%, 全国 99.0%)
- ・中学校 100.0% (三重県 98.8%, 全国 98.3%)

◇項目 34: 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 95.3%, 全国 95.4%)
- ・中学校 100.0% (三重県 96.8%, 全国 94.3%)

◇項目 38: 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 95.8%, 全国 97.4%)
- ・中学校 100.0% (三重県 90.4%, 全国 91.2%)

■「見通す・振り返る」活動では、「目標の提示」「学習内容を振り返る活動」「ノートに学習の目標とまとめを書く」と答えた児童は全国平均よりも高い数値を示しています。それとは対照的に生徒は、いずれも「している」と答えた数値は低い状況にあります。それに対して、「学校質問紙」では全小中学校とも、授業の中で目標を提示し、振り返る活動も、ノートにまとめて書く指導も行っていると答えています。中学生と学校の違いを精査していく必要があります。

(9) 話し合う活動（対話的な学び）について

【児童生徒質問紙】

◇項目 56：5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。（生徒：項目 58）

- ・児童 87.9%（三重県86.5%、全国84.7%） 全国比+ 3.2
- ・生徒 93.8%（三重県87.7%、全国84.4%） 全国比+ 9.4

◇項目 57：5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業では、学級の友達と（生徒の間に）話し合う活動をよく行っていたと思いますか。（生徒：項目 59）

- ・児童 89.7%（三重県84.8%、全国84.5%） 全国比+ 5.2
- ・生徒 86.4%（三重県87.4%、全国81.8%） 全国比+ 4.6

◇項目 59：5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業で、学級の友達との（生徒の間に）話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。（生徒：項目 61）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 84.5%（三重県78.6%、全国78.1%） 全国比+ 6.4
- ・生徒 84.0%（三重県75.8%、全国73.5%） 全国比+ 10.5

◇項目 60：5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。（生徒：質問 62）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 70.7%（三重県63.6%、全国64.9%） 全国比+ 5.8
- ・生徒 56.7%（三重県56.9%、全国57.9%） 全国比- 1.2

◇項目 64：5年生までに（1，2年生のときに）受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。（生徒：項目 66）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 84.5%（三重県78.0%、全国78.5%） 全国比+ 6.0
- ・生徒 88.9%（三重県78.1%、全国76.0%） 全国比+ 12.9

◇項目 68：学級の友達との（生徒の）間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。（生徒：項目 70）

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・児童 79.3%（三重県67.3%、全国68.2%） 全国比+11.1
- ・生徒 72.8%（三重県64.5%、全国64.8%） 全国比+8.0

【学校質問紙】

◇項目 19：調査対象学年の児童・生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか。

（「そのとおりだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・小学校 50.0%（三重県61.8%、全国63.0%）
- ・中学校 0.0%（三重県61.8%、全国61.2%）

◇項目 47：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、児童自らが考え、話し合う指導をしましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 75.0%（三重県90.1%、全国90.6%）
- ・中学校 50.0%（三重県88.5%、全国89.8%）

◇項目 17：調査対象学年の児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

（「そのとおりだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・小学校 25.0%（三重県69.1%、全国71.7%）
- ・中学校 50.0%（三重県72.7%、全国72.9%）

■「話し合う活動」で、「自分の考えを発表する機会」があり、「話し合う活動」をよくしたと答えた児童・生徒が全国と比べて高い数値を示しています。それらの活動の中で、「話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えた」と答えた児童・生徒の数値は高くなっています。「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」とする児童は、全国より多くなっていますが、生徒はやや低い数値を示しています。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている児童・生徒も全国と比べて多くいます。話し合う活動は活発に行われていたことが伺われます。

しかし、学校質問紙では、「児童・生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表ができていると思いますか」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」とい問いには、小中学校「その通りだと思う」あるいは「どちらかといえば、そう思う」と答えている学校はともに2校で、児童・生徒が思うほど効果があがっていると学校はとらえておら

ず、まだまだ指導を要すると考えているのではないかと思います。

(10) 書く・説明する活動（言語活動）について

【児童生徒質問紙】

◇項目 66：400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。（生徒：項目 68）

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・児童 62.0%（三重県68.1%、全国59.5%） 全国比+ 2.5
- ・生徒 67.9%（三重県65.2%、全国62.5%） 全国比+ 5.4

◇項目 67：学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。（生徒：項目 69）

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・児童 46.6%（三重県57.0%、全国53.7%） 全国比- 7.1
- ・生徒 60.5%（三重県64.5%、全国62.8%） 全国比- 2.3

【学校質問紙】

◇項目 35：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県91.3%、全国93.3%）
- ・中学校 50.0%（三重県91.7%、全国90.5%）

◇項目 44：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県95.0%、全国94.7%）
- ・中学校 50.0%（三重県88.5%、全国92.1%）

■「書く・説明する活動」では、「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」とした児童・生徒は、全国よりも高い数値を示しています。「難しい」と感じている児童・生徒が多くいます。それに対して、「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と思っている児童・生徒は全国平均を下回っています。つまり「難しい」と思っている児童・生徒は少ないということを表しています。感想文・説明文を書くことと、自分の考えを書くことで全く逆の結果が出ています。

学校質問紙では、言語活動の位置付けや自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導は、中学校1校を除いて行っています。

(11) 課題解決的な学習について

【児童生徒質問紙】

◇項目 58：5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。

（生徒：項目 60）

- ・児童 82.8%（三重県72.8%、全国75.1%） 全国比+ 7.7
- ・生徒 79.1%（三重県74.1%、全国71.3%） 全国比+ 7.8

【学校質問紙】

◇項目 41：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、授業において、児童・生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県75.6%、全国82.3%）
- ・中学校 0.0%（三重県75.1%、全国75.1%）

■「課題解決的な学習」では、学級やグループの中で自分たちの課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んだという児童・生徒は、全国値よりも多くなっています。

学校質問紙では、小学校は課題解決的な学習に取り組めたとしています。中学校は取り組めていないと答えていますが、生徒は取り組んでいると評価しています。

(12) 規範意識に関わって

【児童生徒質問紙】

◇項目 49：学校のきまり（規則）を守っていますか。（生徒：項目 51）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 100.0%（三重県92.8%、全国92.6%） 全国比+ 7.4
- ・生徒 97.5%（三重県96.5%、全国95.2%） 全国比+ 2.3

◇項目 50：友達との約束を守っていますか。（生徒：項目 52）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 98.2%（三重県97.5%、全国97.2%） 全国比+ 1.0
- ・生徒 97.5%（三重県98.0%、全国97.4%） 全国比+ 0.1

◇項目 51：人が困っているときは、進んで助けていますか。（生徒：項目 53）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 93.1%（三重県86.9%、全国85.3%） 全国比+ 7.8
- ・生徒 91.3%（三重県86.0%、全国84.4%） 全国比+ 6.9

◇項目 52：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

(生徒：項目 54)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 100.0% (三重県 96.4%、全国 96.1%) 全国比+ 3.9
- ・生徒 97.5% (三重県 93.0%、全国 92.8%) 全国比+ 4.7

◇項目 53：人の役に立つ人間になりたいと思いますか。(生徒：項目 55)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 94.8% (三重県 92.8%、全国 92.5%) 全国比+ 2.3
- ・生徒 96.3% (三重県 92.7%、全国 91.9%) 全国比+ 4.4

【学校質問紙】

◇項目 12：調査対象学年の児童・生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか。

(「その通りだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 96.7%、全国 94.2%)
- ・中学校 100.0% (三重県 95.6%、全国 91.7%)

◇項目 13：調査対象の学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

(「その通りだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

- ・小学校 75.0% (三重県 93.0%、全国 90.7%)
- ・中学校 100.0% (三重県 96.1%、全国 94.6%)

◇項目 14：調査対象の学年の児童・生徒は、礼儀正しいと思いますか。

(「その通りだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 89.9%、全国 89.5%)
- ・中学校 100.0% (三重県 95.6%、全国 93.7%)

◇項目 48：調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 96.6%、全国 96.7%)
- ・中学校 100.0% (三重県 98.1%、全国 98.0%)

■「学校のきまりを守っていますか」という項目については、生徒では 2.5% が守っていないとこたえています。児童は全員が守っていると答えています。ともに全国よりも高くなっています。

「友達との約束は守っていますか」では、児童・生徒ともほぼ全国平均となっています。

「人が困っているときは、進んで助ける」と答えた児童・生徒が、全国よりも5ポイント以上高い数値を示しています。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか」という問いに対して、多くの児童・生徒は「いじめはいけないことだ」と考えています。また、全国値より高い数値も示しています。しかし、私たち教育に携わる者としては、何があっても「いじめ」は「悪い」ことだと答えられる子どもを育てて行かなくてはなりません。今後も、人権教育等に取り組み、心の豊かな児童・生徒の育成に努めて参ります。

「人の役に立つ人間になりたいか」という問いでも、児童・生徒とも全国より高い数値を示しています。

■学校質問紙で、「学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守る）の維持を徹底しましたか」という問いに対して、各小中学校ともに行ったと答えています。学力向上にしても、生活習慣の形成にしても、学習規律を形成することは基本となります。児童・生徒にそのことを理解させるよう今後とも各校で取り組んでいきたいと思えます。

■規範意識に関わっては、児童・生徒とも全国平均よりも高い数値を示しており、各小中学校ともその努力により、望ましい学習規律や普段の生活を維持していると考えられます。

(13)「国語」の学習に関わって

◇項目 69：国語の勉強は好きですか。（生徒：項目 71）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童	58.6%	（三重県58.0%、全国60.5%）	全国比-	1.9
・生徒	51.9%	（三重県58.1%、全国60.5%）	全国比-	8.6

◇項目 70：国語の勉強は大切だと思いますか。（生徒：項目 72）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童	94.8%	（三重県91.0%、全国91.2%）	全国比+	3.6
・生徒	90.2%	（三重県90.1%、全国88.8%）	全国比+	1.4

◇項目 71：国語の授業の内容はよく分かりますか。（生徒：項目 73）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童	86.2%	（三重県83.4%、全国82.2%）	全国比+	4.0
・生徒	72.9%	（三重県77.6%、全国74.9%）	全国比-	2.0

◇項目 73：国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。

（生徒：項目 75）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童	87.9%	（三重県88.7%、全国87.9%）	全国比±	0.0
・生徒	81.5%	（三重県85.3%、全国83.3%）	全国比-	1.8

◇項目 74：国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(生徒：項目 76)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 68.9% (三重県 64.6%、全国 68.0%) 全国比+ 0.9
- ・生徒 61.8% (三重県 60.6%、全国 62.7%) 全国比- 0.9

◇項目 75：国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。(生徒：項目 77)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 67.2% (三重県 63.2%、全国 63.4%) 全国比+ 3.8
- ・生徒 64.2% (三重県 54.5%、全国 55.6%) 全国比+ 8.6

◇項目 76：国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。(生徒：項目 78)

- ・児童 84.5% (三重県 75.0%、全国 74.8%) 全国比+ 9.7
- ・生徒 74.1% (三重県 66.8%、全国 65.9%) 全国比+ 8.2

◇項目 77：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。(生徒：項目 79)

(「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合)

- ・児童 79.3% (三重県 78.4%、全国 77.2%) 全国比+ 2.1
- ・生徒 75.3% (三重県 73.5%、全国 72.3%) 全国比+ 3.0

- 「国語の勉強が好き」と答えた児童・生徒は全国平均よりもともに低くなっています。「国語の勉強は大切」だと思っている児童・生徒は全国平均よりも多くいます。「国の内容はよく分かるか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つか」「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしているか」については、児童は全国平均かそれより高い数値を示していますが、生徒は全国平均よりも低い数値を示しています。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫しているか」「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いているか」については、児童・生徒とも全国平均よりも高く、話すこと、書くことの大切さを意識して取り組んでいる様子が伺えます。
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書くとき、どのように解答したか」の問いに、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童・生徒は全国平均よりも少し高い数値を示しており、努力している姿が見られます。

(14)「算数・数学」の学習に関わって

◇項目 78：算数・数学の勉強は好きですか。(生徒：項目 80)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 70.7% (三重県 66.7%、全国 65.9%) 全国比+ 4.8
- ・生徒 49.4% (三重県 57.7%、全国 55.4%) 全国比- 6.0

◇項目 79：算数・数学の勉強は大切だと思いますか。(生徒：項目 81)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 93.1% (三重県 92.1%、全国 92.0%) 全国比+ 1.1
- ・生徒 79.0% (三重県 82.7%、全国 81.1%) 全国比- 2.1

◇項目 80：算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。(生徒：項目 82)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 81.1% (三重県 83.3%、全国 80.6%) 全国比+ 0.5
- ・生徒 61.8% (三重県 75.0%、全国 69.4%) 全国比- 7.6

◇項目 81：算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 70.7% (三重県 76.8%、全国 75.7%) 全国比- 5.0

◇(生徒：項目 83)：数学ができるようになりたいと思いますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・生徒 90.1% (三重県 92.3%、全国 91.2%) 全国比- 1.1

◇項目 82：算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。(生徒：項目 84)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 84.5% (三重県 82.0%、全国 81.1%) 全国比+ 3.4
- ・生徒 81.4% (三重県 76.2%、全国 73.5%) 全国比+ 7.9

◇項目 83：算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。(生徒：項目 85)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 58.6% (三重県 68.4%、全国 69.1%) 全国比- 10.5
- ・生徒 49.4% (三重県 45.4%、全国 45.3%) 全国比+ 4.1

◇項目 84：算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。(生徒：項目 86)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 91.3% (三重県 89.3%、全国 89.1%) 全国比+ 2.2
- ・生徒 72.9% (三重県 74.3%、全国 72.4%) 全国比+ 0.5

◇項目 85：算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。(生徒：項目 87)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 84.5% (三重県 81.7%、全国 81.4%) 全国比+ 3.1
- ・生徒 71.6% (三重県 72.9%、全国 71.2%) 全国比+ 0.4

◇項目 86：算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。(生徒：項目 88)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 81.0% (三重県 83.0%、全国 82.6%) 全国比- 1.6
- ・生徒 77.7% (三重県 73.4%、全国 72.1%) 全国比+ 5.6

◇項目 87：算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。(生徒：項目 89)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 87.9% (三重県 86.2%、全国 86.0%) 全国比+ 1.9
- ・生徒 88.9% (三重県 81.0%、全国 81.3%) 全国比+ 7.6

◇項目 88：今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。(生徒：項目 90)

(「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合)

- ・児童 65.5% (三重県 70.7%、全国 69.9%) 全国比- 4.4
- ・生徒 59.3% (三重県 57.9%、全国 55.4%) 全国比+ 3.9

■「算数・数学の勉強は好きか」「算数・数学の勉強は大切か」「算数・数学の授業の内容はよく分かるか」という問いに対して。児童は全国平均よりも高い数値を示していますが、生徒はいずれも低い数値を示しています。

児童の「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思うか」と生徒の「数学ができるようになりたいと思うか」のどちらも、全国平均より低い数値を示しています。

■「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるか」については、児童・生徒とも全国平均よりも高い数値を示しており、諦めて捨ててしまうということをせず、最後までやり抜く児童・生徒が多いことも伺えます。また、「算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思うか」

「算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えるか」「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようノートに書いているか」はともに全国平均よりやや高い数値を示しています。「問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」生徒は、全国平均より多く、算数と数学の小学生と中学生の結果の違いとして表れているとも考えられます。

■算数と数学の小学生と中学生の結果の違いは、「算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしているか」や「今回の算数・数学の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答したか」の問いに、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の回答で、小学生はともに全国平均より低い数値を示していますが、中学生はともに高い数値を示しています。算数・数学に対する取り組みの姿勢が表れていることが考えられます。

(14) 調査結果の取扱い

【学校質問紙】

◇項目 55：平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか。

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県99.4%、全国98.3%)
- ・中学校 100.0% (三重県98.8%、全国97.3%)

◇項目 56：平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動をするために活用しましたか。

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県98.9%、全国96.6%)
- ・中学校 50.0% (三重県94.2%、全国94.4%)

◇項目 57：平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県98.9%、全国90.8%)
- ・中学校 100.0% (三重県98.1%、全国86.8%)

◇項目 58：平成28年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 75.0% (三重県96.1%、全国89.9%)
- ・中学校 100.0% (三重県91.1%、全国83.4%)

◇項目 59:全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。

(「よく行った」「どちらかといえば、行っている」と回答した割合)

- ・小学校100.0% (三重県97.2%、全国93.5%)
- ・中学校100.0% (三重県95.6%、全国90.1%)

■「調査結果の取扱い」については、小中学校とも全ての項目でほぼ取り組んでいます。できていないところは、今後どのようにすればよいか話し合っていきます。

3 大台町におけるこれまでの取り組みと成果と課題

(1) これまでの取り組み

- 「大台町学校教育の方針」の策定と各学校での具体化した取り組み。
- 大台町小中学校連携推進事業の中で、学力向上推進委員会主催による全体研修会の開催
- 学力向上推進委員会における、CRT（学力標準検査）の分析結果や学力向上の取り組みの交流。
- 多気郡学力向上推進会議における講師を招聘しての研修会の開催と実践交流。
- 平成29年度は、町教委指導主事等による授業研究等での指導・助言。
- 学校図書館・室の充実のため、町図書館司書を派遣。
- 町の図書館司書と連携した資質向上の取り組み。

(2) 成果と課題

【教科に関する調査より】

① 各教科の平均正答率と無回答率の状況

- 小学校は国語A・Bは全国平均と同等の数値を示しています。算数Aと算数Bに関しては全国平均よりやや低い数値を示しています。中学校は、国語Aは全国平均よりやや高く、国語Bは同等の力を示しています。数学Aは、全国平均より高い数値を示しています。数学Bは全国平均よりやや低い数値を示しています。
- 無回答率が、全国に比べて低くなっています。
 - ・小国A…大台町2.75% (県2.26%、全国2.77%)
 - ・小国B…大台町3.82% (県4.32%、全国4.31%)
 - ・小算A…大台町1.36% (県1.44%、全国1.59%)
 - ・小算B…大台町5.94% (県6.64%、全国6.41%)
 - ・中国A…大台町2.57% (県2.01%、全国2.41%)
 - ・中国B…大台町1.78% (県3.72%、全国3.80%)
 - ・中数A…大台町3.73% (県5.39%、全国6.25%)
 - ・中数B…大台町7.82% (県10.95%、全国11.71%)

小学校は、全教科とも全国より低くなっています。中学校の国語Aのみ全国より高くなっていますが、国語B・数学A・Bは、とも無回答率が低くなっています。結果として、小学校の算数は全国平均よりやや低い数値を示していますが、最後まで取り組もうとしている姿が、この数値から見えます。学校において、最後までがんばるように取り組んでいる成果が現れているものと思われれます。

② 設問別の正答率の状況（成果◇・課題◆）

〈小学校〉

◇国語…「話す・聞く能力」は力がついています。A問題（基礎的）な部分からは「読む能力」はついています。B問題では、「目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す」ことや「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く」ことができています

◇算数…A問題では、「示された平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係」が理解されているなど、「図形」については力がついています。

◆国語…A問題で、漢字を書いたり読んだりすることができていません。基本的な部分に取り組んでいく必要があります。

◆算数…B問題で、数と計算の部分ができていません。応用問題に取り組んでいく必要があります。

〈中学校〉

◇国語…「文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを書く」ことや「文章の構成を工夫してわかりやすく書くこと」など、「書く能力」については力がついています。

◇数学…A問題の基礎的部分では、全ての領域で力がついています。B問題では、「数量や図形などについての知識・理解」については力がついています。

◆国語…「言語についての知識・理解・技能」の部分に弱さが見られます。

◆数学…B問題で、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」の部分に弱さが見られます。また、理由や方法等を数学的な表現を用いて説明することができていません。

4 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

(1) わかる授業の推進

①すべての児童生徒が、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できる授業づくりを進めます。

②「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行い、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを進めます。

- ・問題解決的な学習の基本的な取り組み
- ・他の考えを受け入れて、判断する力
- ・目的や相手に応じて話したり、聞いたりする力
- ・資料やグラフ・表を読み取る力
- ・ICT等を活用して資料を使って表現できる力
- ・目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いたり、理由が分かるように書いたりする力

③「見通す・振り返る活動」を重視した授業づくりを進めます。

- ・めあての提示の工夫等、実生活における事象との関連を図った授業
- ・補充的・発展的な学習指導の充実
- ・振り返る活動について、その時間の確保に努め、学力定着につながるあり方を工夫していく

(2) 研修の推進

- ①習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の研修を充実させ、学校の教育活動に学力向上のP D C Aサイクルを無理なく位置づけます。
- ②小中連携教育推進会議において、全国学力・学習状況調査、C R T検査の分析結果や、学力向上の取り組みの交流を継続することにより、各校でのより有効な授業実践につなげます。

(3) 学習、生活習慣の改善

- ①家庭学習のあり方を検証し、自主的な学習習慣が身につくよう取り組みを引き続き行います。
- ②メディアへの接触時間（特にテレビやビデオ・DVD）について、生活習慣チェックシートを活用したり、見る時間のルールの徹底等を行ったりして、家庭と連携して改善への取り組みを行います。
- ③本に興味を持ち、進んで読書をする児童・生徒を目指して、一斉読書の時間を設定したり（朝読）、図書館を活用したりした読書づくりを進めます。